






## 16. 張り子の製作 2

16-1		<ol style="list-style-type: none"> <li>十分に乾燥したら、張り子全周の折り返し部分を切り取ります。</li> <li>頭部の前後を合わせてみて、両方がぴったり合うように縁をカッターナイフ等で整形します。</li> <li>縁の部分に木工用ボンドを塗り貼り合わせ、コテで押えて固定するとともに、凹凸もコテで整形します。</li> </ol>
16-2		<ol style="list-style-type: none"> <li>アルミ線（Φ1mm）で耳の形となるフレームを作ります。</li> <li>張り子の両側に千枚通しで穴を開け、両耳の取り付け部分を差し込んで接着します。</li> </ol>
16-3		<ol style="list-style-type: none"> <li>アルミ線で作った耳のフレームに、張り子紙をちぎってボンドで接着し、コテで固定整形します。</li> <li>耳の裏側から折った張り子紙をボンドで接着し、コテで固定しながら形を整えていきます。</li> </ol>
16-4		<ol style="list-style-type: none"> <li>Φ6×8mm（内径Φ2mm）の軸受けを作ります。</li> <li>Φ8×4mm（内径Φ2mm）の軸受けを2個作ります。</li> <li>8mm角の頭部台座を作り、軸受けの穴位置を合わせて接着固定します。</li> <li>軸受けに対し回転軸がスムーズに回転するように、回転軸となる竹ヒゴの表面を紙ヤスリで仕上げておきます。</li> </ol>
16-5		<ol style="list-style-type: none"> <li>張り子頭部の首側面に千枚通しで穴を開けます。</li> <li>張り子の首内側に頭部台座を差込み、その両側にΦ8×4mmの軸受を入れるように回転軸を張子の首側面から貫通させ、頭部台座に対し張り子頭部の首振りができるようにします。</li> <li>回転軸を首幅に合わせて、余分な部分を切断し、張り子頭部に接着固定します。また頭部台座が中央にくるようにしΦ8×4mmの軸受けで挟み込むようにして軸受けと軸を接着します。</li> </ol>